

事前評価個表

整理番号	27
------	----

地域（地区）名	ひろとがわ 広 渡 川	事 業 名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	宮 崎 県	対 象 市 町 村	にちなんし 日南市ほか1市
事業実施期間	R2年度 ～ R6年度 （5年間）	事業実施主体	県、市、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地区は、県の最南部に位置し、南那珂地域の2市で構成され、鰐塚山から南東部にかけては、標高500m前後の山々が海岸まで迫り、また、広渡川や福島川の下流域では標高200m以下の丘陵地が多く分布するなど、全般的に比較的緩やかな地形となっている。</p> <p>民有林面積は37千ha、そのうち人工林は23千haで人工林率64%となっている。樹種別では、スギが人工林の94%、齢級別では、Ⅷ齢級以上が81%を占めており、高齢級の割合が高いことから、主伐後の確実な再造林が必要となっている。</p> <p>また、近年充実した森林資源を背景に、製材工場が大型化するなど木材需要が高まっており、伐採量が増加している状況となっている。</p> <p>このように本地区が本格的な収穫期に入っていることから、豊かな森林資源を効率的に活用しつつ、確実な再造林を進めることで、「伐って、使って、すぐ植える」資源循環型林業を構築するとともに、「森林の若返り」と齢級構成の平準化を進めていく必要がある。</p> <p>このため、本事業では森林資源の循環利用と水源涵養機能等の森林が持つ役割に応じた適正な森林管理を進め、森林の有する多面的機能の維持・増進を図るとともに、成熟した森林資源を有効活用し、木材の安定供給体制の確立に資することを踏まえた、植栽等の更新作業や間伐等の森林整備を一体的かつ計画的に実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：9,937ha 人工造林、下刈り、除伐、間伐等</p> <p>総事業費：3,451,228千円(税抜き 3,137,480千円)</p>
費用便益分析結果	<p>B/C = 4.32 (総便益(B) = 24,460,575千円、総費用(C) = 5,664,123千円)</p>
評価結果	<p>必要性：水源涵養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性：費用便益分析の結果から十分な効率性が認められるとともに、本事業を活用した計画的な森林整備により、施業地の集約化や生産コストの縮減が図られることから、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：木材の安定供給体制の確立とともに、森林資源の循環利用を図り、森林の有する水源涵養や土砂流出防止等の公益的機能の維持増進を目指しており、事業の有効性が認められる。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名：宮崎県

地域(地区)名：^{ひろとがわ}広渡川

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	5,305,909	
	流域貯水便益	2,238,949	
	水質浄化便益	7,868,892	
山地保全便益	土砂流出防止便益	3,704,941	
環境保全便益	炭素固定便益	3,328,141	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	2,013,743	
総 便 益 (B)		24,460,575	
総 費 用 (C)		5,664,123	
費用便益比	$B \div C = \frac{24,460,575}{5,664,123} = 4.32$		

森林環境保全整備事業 広渡川地域（宮崎県） 概要図

